

世界から人環へ・人環から世界へ

No. 17 April 2022



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニューズレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けます。また、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。ただし、2020年度と2021年度は世界的なコロナ禍で交流活動がやむなく制限された例外的な年でありました。

年度	2017	2018	2019	2020	2021
招聘研究員 (客員教授・准教授)	6	4	5	1	1
招聘外国人学者	8	3	6	1	0
外国人共同研究者	4	10	6	1	3

表1 外国人研究者受入れ数(渡日時年度) (人)

2021年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです(名前の後の()内は国籍/所属・身分)。

招聘研究員(客員教授・准教授)

- RAHMAN, Md. Mahbubor (バングラデシュ/ラジシャヒ大学・教授)



第78回国際交流セミナー
(2頁参照)

外国人共同研究者

- REINA, Giacomo (イタリア/フランス科学研究所(CNRS)・博士研究員)
- CHEN, Xiaoxiao (中国/中国科学技術院・助教)
- KAUL, Melissa Ann (スイス/チューリヒ大学・助教)

国際交流セミナー

人間・環境学研究科では、常時1名ないし2名の招聘研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第77回 2021年4月21日（2020年度招聘研究員）

演者 ワン・ウェイ（Wei Wang）先生
中国／西安交通大学准教授

演題 Brief introduction to the traditional customs in Xi'an
（西安の歴史的慣習の紹介）

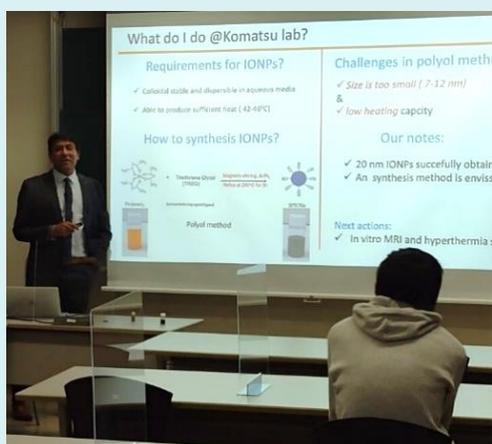
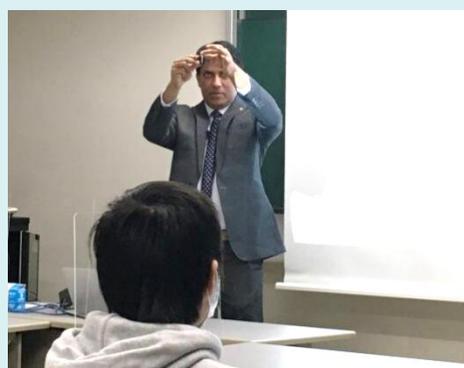


（コロナ禍でオンライン開催となりました）

第78回 2022年1月20日

演者 ラハマン・マハブボ・Md (Md. Mahbubor Rahman) 先生
バングラデシュ／ラジシャヒ大学教授

演題 Iron Oxide Based Magnetic Nanoparticles:
Synthesis, Characterization and Biomedical Applications
（酸化鉄系磁性ナノ粒子の合成、キャラクターゼーション
と生物医療応用）

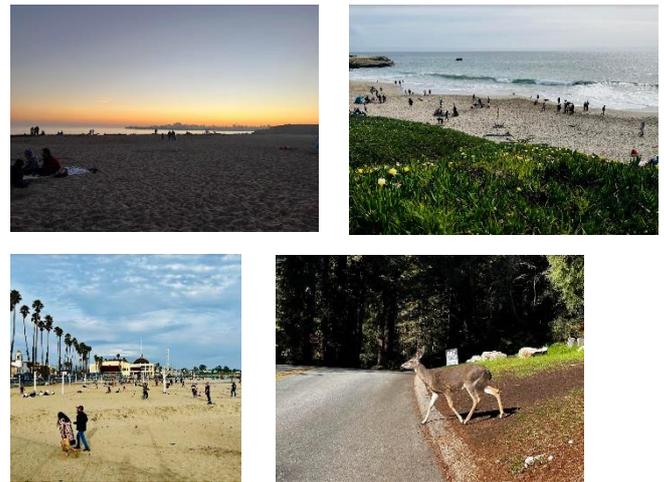


学生の海外留学

海外留学には、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得課程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学国際教育交流課発行「海外留学の手引」を参考にして下さい）。以下、現在留学中の2人をご紹介します。（説明は、①留学先、②留学先の所属(身分)、③研究テーマ、④奨学金、⑤留学期間、⑥メッセージ）

安川 知里さん（人間社会論講座・修士2年生）

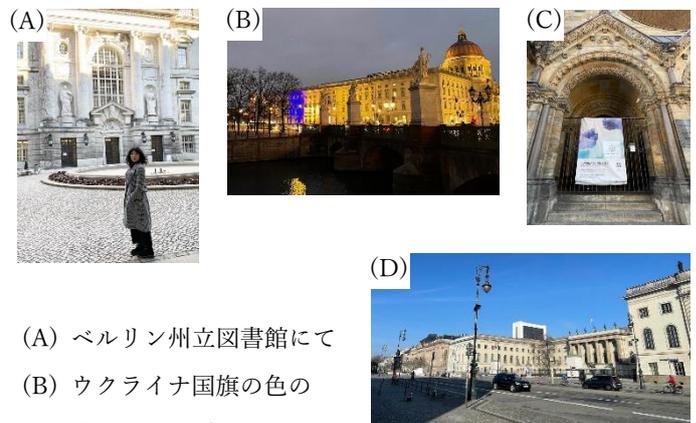
① アメリカ合衆国 ② University of California Santa Cruz, Film & Digital Media (Graduate Student) ③ ハリウッド映画とフェミニズム ④ 日本学生支援機構(JASSO) ⑤ 2021年12月～2022年12月 ⑥ 現在は映画とフェミニズムの授業を履修しています。UCSCでは両分野の研究が非常に盛んで、想像以上に多くの種類の授業が開講されているため、各教授の多様なバックグラウンドに支えられた幅広い知識と研究に触れることが出来、留学の一番のメリットとして感じています。また学生の属性も様々で、彼らと接する中で得るものも大きいです。



写真はクラスメイトと行った海の様子と、自然の多いキャンパス内で遭遇した鹿を写したものです

池田 真実子さん（思想文化論講座・博士2年生）

① ドイツ ② フンボルト大学ベルリン美術史・イメージ史研究所 (Visiting Ph.D.) ③ 1920年代ドイツ芸術の政治関与に関する研究：メディアム間の影響関係の観点から ④ 日本学術振興会若手研究者海外挑戦プログラム ⑤ 2021年9月～2022年8月 ⑥ 議会選挙、新型コロナウイルス感染者数の増減、感染対策の強化・緩和、感染対策反対デモ、ウクライナでの戦争に反対する大規模デモ—国内外の情勢に敏感に呼応し、日々活発なベルリンにいます。明るいニュースばかりではないなか、留学できていること、そしてそのためにご協力くださった日独双方の多く方に感謝しつつ、研究に取り組んでいます。



- (A) ベルリン州立図書館にて
- (B) ウクライナ国旗の色のライトアップ
- (C) コロナテストステーションとなったカイザー・ヴィルヘルム記念教会
- (D) 大学の機関や図書館などが点在する通りウンター・デン・リンデン(画面右半分に写っているのがフンボルト大学のメインの建物)

外国人留学生

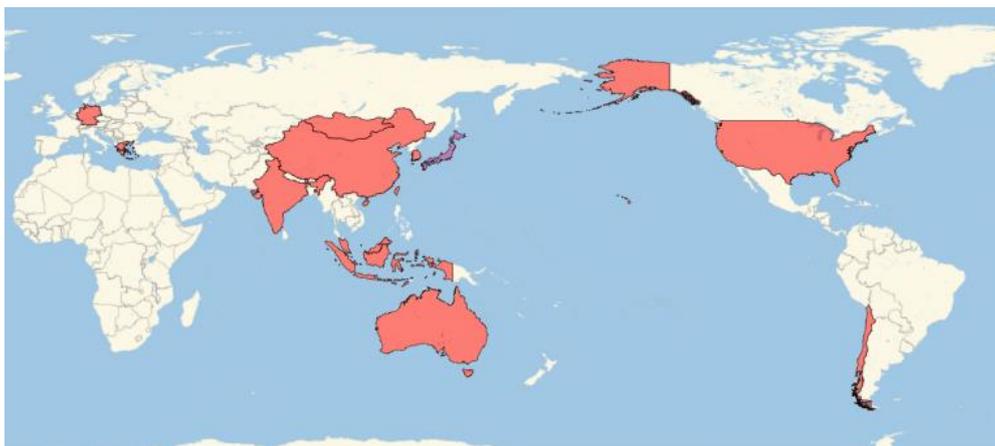
人間・環境学研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。京都大学全体では2021年5月1日現在、2,497名の留学生が在学し、そのうち172名が本研究科で学んでいました（表2参照）。これは本研究科の全在学生678名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生を含む）の約25%に当たり、また、その出身地は13の国及び地域に及んでいます（表3参照）。

表2 留学生受入れ数
(各年度5月1日現在)

年度	2017	2018	2019	2020	2021
修士課程	52	71	96	86	78
博士後期課程	69	70	76	79	81
非正規 (研究生・特別研究学生 特別聴講学生)	22	18	21	19	13
合計	143	159	193	184	172

表3 留学生出身国地域別人数
(2021年5月1日現在)

中国	142	ギリシア	1
韓国	10	シンガポール	1
台湾	8	チリ	1
米国	3	ドイツ	1
インド	1	マレーシア	1
インドネシア	1	モンゴル	1
オーストラリア	1	計 172 人	



◆ URL

<https://www.h.kyoto-u.ac.jp/international/>

◆ 問い合わせ先

- 国際交流委員／留学生アドバイザー
Matthew de Brecht (マシュー・ディブレクト)
Email: jinkan_ryugaku@h.kyoto-u.ac.jp

- 京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp